

# 東京都の農委会長ら視察

## 箕面、八尾の取り組みを発表

10月28日から29日にかけて、東京都内の農業委員会会長ら59人が来阪し、箕面市、八尾市における都市農業振興に係る取り組みの研修が行われた。

28日は大阪市東淀川区・大阪コロナホテルで、箕面市農業公社の取り組みについて研修。箕面市農業委員会の稲垣恵一会長の挨拶の後、同農委の佐治室長が公社の取り組みを説明。公社が遊休農地を借り受けて

耕作することで、市内の遊休農地ゼロを達成するとともに、学校給食への出荷を通じた地産地消推進や、新規就農者の育成・輩出など様々な相乗効果が生まれていること等を説明した。

また、公社で農業を学び、市内で新規就農した後には委員となつた生田梨恵委員から公社での経験を踏まえた取り組みを発表。この他、農業会議から府内の都市農業振興に係る取り組み



公社設立は後継者問題など当時の農業課題の解消も一つの目的と説明

状況、大阪府からは大阪版認定農業者制度についての説明を

# 市長と共に農地パトロール 遊休農地の貸借について検討

## 八尾市

八尾市農業委員会（齊藤暁会長）は、11月7日より農業委員・推進委員・事務局職員の全員体制で農地パトロールを実施。12日には大松桂右市長、齊藤会長や役員、地区担当委員の農業委員計6人と事務局2人で南高安地区の農地パトロールを実施した。

当日は、冒頭大松市長が「農業委員・推進委員の日々の巡回に感謝する。市では、現場の事情を知る委員からの意見を踏まえながら農家と担い手のマッチングを進めていきたい」と述べ、引き続き現場活動にご尽力いただきたいという激励の言葉が贈られた。

各委員と市長は、集団農地内で5年前から遊休化し、周辺の農家から苦情が出ている農地を巡回。接道しており日当たりも良いことから本来営農条件が良いものの、遊休化して一定年数が経過したことで復元しづらくなっている農地だ。



齊藤会長や地区担当委員が大松市長に遊休農地について説明

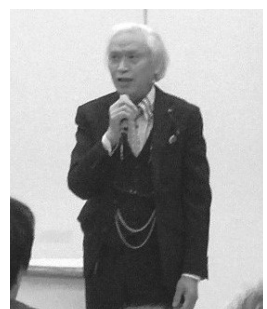


松岡孝明氏が若ごぼうのハウスの前で経営概要を説明

行った。

続く29日は、八尾市・大阪府中河内府民センターで八尾市の農業及び市特産の花き生産について研修。八尾市農委の稲葉事務局長が八尾市農業の概要や地域計画、都市農業振興基本計画の策定等について説明した後、花き農家である齊藤暁農委会長が花き生産について説明した。

傾斜地で水はけの良い同市東部には、100年以上続く花木産地が拡がり、消費地から近い立地を活かし、多様な品目が生産・出荷されていると述べた。その後は、JA大阪中河内営農総合センター及び松岡農園で都市農地の貸借に係る取り組みについて研修。同JAの三谷氏より、遊休農地の解消を目的に平成29年に農地保全チームを発足し、八尾市が本府で生産緑地の貸借件数が最多となっていることを説明。市内で最も多く生産緑地を借り受けている松岡孝明氏からは、JAが貸借の調整に入ることで、スムーズに農地を借り受けられているとの説明があった。



花き生産の歴史を説明する齊藤会長

(沼田)

(沼田)